

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

2014-15 年度国際ロータリー会長 ホアン黄其光 Gary C.K. Huang(台湾・台北RC)

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013 年 6 月 5 日

会長:荒山 久美



■ 斉唱

「君が代」「奉仕の理想」

■ 司会

島村恵三 会員

■ 出席者報告

会員数:34 名

出席者:28 名

出席率:82.3%

前々回(第 82 回)修正出席率は 82.3%(28/34)

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

パストガバナー 名誉会員 名古屋北 RC 田嶋好博様

特別代表 名古屋北 RC 浦野三男様

名誉会員 名古屋北 RC 水野吉紹様

■ 新入会員バッチ授与式

新たに会員になられた山田真里様にバッチが授与されました。



■ ニコボックス報告

パストガバナー 名誉会員 名古屋北 RC 田嶋好博様

卓話させていただきます。

■ 名誉会員 名古屋北 RC 水野吉紹様

4/23 開催のチャリティゴルフに名古屋アイス RC より会員 8 名ご参加いただけるとのお話ありがとうございます。また細川さんのお力添えで女子プロ 13 名もご協力頂きます。

■ 荒山久美 会長

明日は一人娘の誕生日なのでニコボックスに入れました。田嶋先生、卓話をお願い致します。山田さん、入会ありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

■ 安井会長エレクト

田嶋パストガバナー、本日卓話宜しくお願い致します。今日は 4 月バカの日です。ほとんどの消費物価が値上がりします。この先、生活が苦しくなります。こんな時期桜が満開です。人も心もあたたかくなる春が来ました。

♪アッタカインダカラ〜♪

■ 幹事報告(藤森幹事)

1. 4 月の例会予定について
2. 3 月末を以って一身上の都合により稲葉会員退会
3. 森会員の移動に伴い後任の相澤さんの推薦について

■ 卓話 (RI 第 2760 地区パストガバナー

名誉会員名古屋北 RC 田嶋好博様)

ロータリークラブとは

1. アメリカを中心としたロータリークラブの特徴
ロータリークラブは、奉仕を学び、実践する国際的な団体です。

1905 年(明治 38 年)2 月シカゴでポールハリス他 3 名で作られました(弁護士、洋服仕立屋、鋳山技師、

石炭商)。その目的は物質的相互扶助と親睦であり、一業一人の会員制としました。

1906年当時の定款の目的には「会員の事業上の利益の促進」と「社交クラブに付随する親睦とその他必要と思われる事業の促進」とされていました。

翌年入会を勧誘したドナルドカーターから定款を示すよう求められ、「会員の利益のみを目的とした団体に将来性はない。市民に対する奉仕が必要である」と指摘され、それを定款の目的に加えたこと及び一業一人の会員制で発展し、1908年サンフランシスコ、1909年オークランド、シアトル、ロサンゼルス、ニューヨークでクラブが次々と誕生し、1910年には全米ロータリークラブ連合会が誕生しました。同じ年シカゴで第1回ロータリー大会が開催され、社交的親睦をロータリーの目的から外し、物質的相互扶助からの脱却を図る綱領が作られました。これらのことは、ロータリークラブの原始会員達の良い物は取り入れて、改めるべきものは改めると言う謙虚さと誠実さを知ることができます。この特性はその後継承されて行きます。

翌年には「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」がロータリー宣言として採択され、「超我の奉仕」が標語とされました。キリスト教徒であれば、社会的成功者は神の加護のお陰であるから、社会に奉仕しなければならないと考えるのですが、それを逆に「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」としたことによって、キリスト教徒以外の人々にもロータリーの理念が理解され、世界の人達に門戸を広げる契機となりました。超我の奉仕はそれを標語にしたもので、人類の普遍的価値観であることを示しています。

1912年社会奉仕活動の顕在化、1914年国際奉仕のめばえ、1915年職業奉仕基準の確立、クラブ管理の標準化がはかられ、最初のクラブが作られて10年でその後100年間の活動方針となった四大奉仕が確立し、1917年にはロータリー財団が始まりました。つい6年前には青少年奉仕を加えて五大奉仕となりました。これらの事実、ロータリークラブが社会に役立つことであれば、積極的に取り入れるという組織の柔軟性を示しています。

ロータリークラブは、五大奉仕に基づいて奉仕事業に取り組んで来ましたが、余りに多くの事業に取り組んだため、一事業当たりの事業費が小口化し、事業の効果が上がらなくなりました。それを改めるためR Iは、約

10年前から「世界一の奉仕団体を目指す」との方針を打ち立て、その戦略としてR Iとロータリー財団の一体化と、2010年7月1日からロータリークラブの運営方針を定める戦略計画を成文化しました。

戦略計画の優先事項は①クラブのサポートの強化②人道奉仕の重点化と増加③公共イメージと認知度の向上の3点です。①のクラブのサポートの強化とは、クラブを改革し活性化させると共に、女性会員や若い会員を増やすことであり、②の人道奉仕の重点化と増加は、ロータリー財団の6つの重点分野（平和と紛争予防、水と衛生、疾病予防、母子の保健、識字率向上、経済開発と地域開発）を中心とした奉仕活動に取り組むことであり、③の公共イメージと認知度の向上とは、ロータリークラブを社会により周知して貰うことであります。



従って、現在のロータリークラブの事業は、補助金を活用できるロータリー財団の6つの重点分野の事業を中心に進められています。クラブの委員会も極端に言えばR財団委員会、米山奨学委員会、研修委員会があれば十分とすることができます。アイリスの組織は、ほぼそれに近い組織になっていると思います。

ちなみにアメリカでは、会員がさまざまな事業を提案し、それに賛同した会員が協力して、チャリティーなどで資金を集め事業化しています。日本のロータリークラブの殆んどは委員会が細かく分かれていて、事業の発案は委員会任せとなっていて、どうしても会員の事業への参加意識が薄いこととなります。

2. 日本のロータリークラブの考え方

日本におけるロータリー史は、1921年4月1日R Iから東京ロータリークラブが認証されたことによって始まりました。東京ロータリークラブは、財界の大御所ばかりが会員となりました。またクラブの設立に尽力した初代会長の米山梅吉氏の方針で奉仕の哲学の探求に取り組みましたが、例会も月1回程度で、出席率も低く、

会員のロータリーに対する関心は低かったと言われてい
ます。

ところが2年後の1923年9月1日関東大震災が
発生し、9月5日にはR Iから25, 000ドルの義捐
金が贈られ、その後世界の503クラブから合計89,
800ドルの義捐金が贈られ、会員はロータリークラブ
が凄惨な団体だということに気付いたのです。東京クラブ
は、この義捐金を会員のために使用せず、東京・横浜の
小学校への備品の寄附、東京孤児院の新築など子供達の
育成保護のために使用しました。これを機会に東京ロー
タリークラブは月1回の例会を毎週開催することに改め
ました。

東京ロータリークラブが財界の大御所で作られたこと
から、ロータリーの会員はスティタスとして認められ、
私達はロータリーが変わったスティタスではないと言
いながらも、地域社会のさまざまな職業、立場の人達を
迎入れることに消極的で、地域社会を代表する組織に
なるという考えはありません。

そもそも私達が会員増強に取り組む理由は何でしょう
か。異業種の交流によって人の輪を広げるとか、さま
ざまな人の意見を聞くことで奉仕活動を円滑に行うこと
など考えられますが、アイリスのように積極的に女性会
員を受け入れ、一業一人の会員制でさまざまな職種の人
を受け入れ交流することは素晴らしいことだと思います。
一業一人の会員制は、2001年に廃止されましたが、
ロータリー独特のルールで、このルールの良い点は皆様
ご理解頂けると思います。

またこれも東京ロータリークラブの影響ですが、東京
ロータリークラブが奉仕の実践よりも奉仕の哲学の探
求に取り組んだことにより、日本のロータリークラブに
は、ロータリーが人生道場であるとか、職業倫理を中心
とした職業奉仕を重視するという考えが主流となりまし
た。そのため世界の奉仕団体になろうというR Iの方
針を受け容れることが出来ない会員が少なくないのが
現状です。クラブの活性化と言っても、R Iの言うよう
に奉仕を中心にするのか、人生道場として活性化するか
統一した見解が出来ないのが、日本のロータリークラブ
が混迷している原因の一つでもあります。

人生道場であるべきとの考えについては、職業倫理と
言っても現在どの企業もコンプライアンスやガバナンス
に取り組んでいて、ロータリーだから勉強できるもので
はありません。今大切なものは、人生道場という先生と

生徒を連想させるものではなく、会員が対等でフランク
に人生論、経営理念、悩みごとなどさまざまなことを話
し合い交流の輪を広げることであります。

一方奉仕団体であるべきとの立場については、事業経
営者の集まりであるロータリークラブになぜ奉仕が必要
であるかを改めて考えてみる必要があります。経営者
は常に社会の変化に対応できるか、他業種、他の世代
に追い越されるのではないかと危機感を持っていると
思います。それだからこそ奉仕活動など直接事業と関係
のないことに取り組むことによって、社会の多様なニ
ーズを感じ取ることができるのではないのでしょうか。ロー
タリークラブが奉仕を学び、実践する国際的な団体であ
ることは、存続する限り変わることのない事実でありま
す。

■ 会長挨拶（荒山久美 会長）

先週の金曜日ですが、3月27日に東急ホテルで6RC
合同例会が開催されました。当クラブも2回目の参加と
なりまして、今年こそは杜若のバナーを並べていただき
ましたので、ようやくアイリスの存在を確認していただ
けたのではないかと感じました。また、他クラブの会員
との交流も出来たようですし、数年のうちには当クラブ
での開催がありますので、例会運営、懇親会についても
勉強できたのではないかと思います。

さて、4月1日と言えば、皆様方ご存じのように「エ
イプリルフル・デー」です。西洋では嘘をついても許
されるということです。しかし、世はインターネットの
時代となり、軽い気持ちでついた嘘が一瞬にして世界を
駆け巡らないともかぎりません。いかにエイプリルフル
ルといえども、もはや嘘はイエローカードを超えて、レ
ッドカードとなった感が致します。



「エイプリルフル・デー」の由来は仮説の域を出な
いとしながらも、その昔、ヨーロッパでは3月25日を
新年としていて、4月1日まで春の祭りを開催していま

したが、1564年にフランス王・シャルル9世が1月1日を新年とする暦を採用しました。これに反発した人々が、4月1日を「嘘の新年」とし、馬鹿騒ぎをはじめました。しかし、シャルル9世はこの事態に対して非常に憤慨し、町で「嘘の新年」を祝っていた人々を逮捕し、片っ端から処刑してしまう・・・ということがあったそうです。そこで、人々はフランス王への抗議と、この事件を忘れないために、その後も毎年4月1日になるとヨーロッパでは盛大に「嘘の新年」を祝うようになっていきました。

「抗議」や「警告」につながる嘘の範囲なら、本日に限り「午前中の嘘は許された！」ということです。申し遅れましたが、嘘について良いのは「午前中」なんだそうです。これは、本当の話です！

すでに、4月1日の午後となっております。どんな嘘をつこうかなと思っていたら遅すぎます。今日の残り約10時間は、当クラブの会員は、まじめに、そして実直にがんばって参りたいと思います。

■ 次回例会

第85回 4月8日(水)

次回卓話 名古屋北RC幹事 矢形修己様